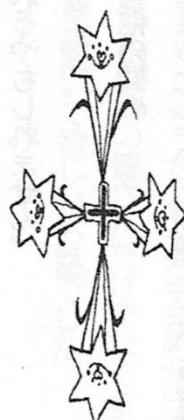


東中国キリスト者

障害を共に学び共に担う会

シャローム



第一六四号

二〇二五年五月十六日発行

目次

奨励……仙台東教会 伝道師

佐々木玲哉 (1)

鳥取支部「春の日」集会 報告

宮脇俊昭 (5)

会計報告

宮脇俊昭 (7)

編集後記

難波幸矢 (8)

奨励

日本基督教団 仙台東教会

伝道師 佐々木玲哉

(元 岡山教会 伝道師)

「ある峠を越えるために」

マルコによる福音書 9・38～41

一、初めに

最近、利他という言葉がよく使われるようになっていきます。「利他学」という学問的カテゴリーがあるぐらいです。この言葉の起源は、空海にまで遡ることができそうです。空海は「自利利他（じりりた）」と使用していたようです。彼は、他者に利することのために自分の利することについて述べています。このような考え方には、「自他一如（じたいちによ）」という仏教的な発想があります。この言葉には、「自分と他者は本質的に一体的である」との意味があります。物理的には違えど、本質的

な一体性を主張し、自我の苦しみから解放せよとの仏教的な教えであるようです。

キリスト教の内での利他という言葉が語られる時には、利己主義の対義語のようになっていることもしばしばです。『幸福論』などを著したアランが正しくエゴイズムの反対語として『定義集』で定義しています。

これは、キリスト教が自己と神との対話を大切にしてきたからであります。ハンナ・アーレントという政治・哲学者は『責任と判断』（中山元訳、ちくま学芸文庫、2016）で「わたしが他者を愛するように自分を愛するかどうかという問題ではないのです。わたしがほかの誰よりも、自己のうちに住むこの沈黙したパートナーに依拠していて、この（わたしのうちの自己）の言いなりになるということだ」と論じています。彼女は、「二人のうちの二人」がいなくなることが本当の孤独であるとも述べています。その「友」を通して神と繋がっていることで、人間は神の自由によって自由になるのかもしれない。その「友」に

よって得た知恵と信仰によって表出した自己を他者に生かすことが、キリスト教的利他の有り様と言えるかもしれません。自己と他者は本質的にも別々であり、決して一体となることはありません。ですから、「隣人を愛する」と説く時、それはあくまでも他者であり、一体となった自己ではないのです。けれども、初期のアウグスティヌスを読んでおみると、キリスト教において究極的な利他の対象は、自己の中の「友」であるのだと思えてなりません。キリストを通した隣人は、その本質的な部分で一体となれるやもしれません。

二、利他の勧め

このようにして、「利他」という言葉に解釈的相違を与えることは容易であります。どちらも歴史的背景と熟成された思想的背景を持っています。けれども、目指しているところは同じであつたりいたします。すなわち、他者と共に生きることあります。ルカによる福音書6章31節には「人にして

もらいたいと思うことを、人にもしなさい」との山上の垂訓の言葉が残されています。敵である隣人に対しても利他的であることをイエスは求めています。実際上の敵は多いわけですが、その敵の多くは自分自身以上の敵ではありません。誠にイエスが「あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えないに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。」（ルカ6・41）と言われている通りであります。自己の中の「友」は最大の敵であるわけですから、敵を愛するということは自己と他者が本質的に一体となる場合があるのだと言えるかもしれません。存外にして、イエスは利他の勧めをしていたともいえます。

三、イエスと利他

イエスに対して告げ口をしたヨハネは、この利他の精神が足りていませんでした。ヨハネは「先生、あなたのお名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、私たちに従わないので、やめさせました。」

と言っています。イエスの名前を使って悪霊なるものを追い出す人がいたようです。ヨハネが告げ口をしているのですから、イエスから名前を使うことが許諾されていないことを十全に知っていたのでしょう。勝手に使用した上、悪霊を追い出すという権能を用いています。イエスの弟子としては、名前はおろか、権能を勝手に使用することは許さざる出来事であつたことであつたと思います。けれども、視点を変えてみると、イエスから許諾を取得していないその人は、ちゃんと悪霊を追い出すことに成功しています。この悪霊が、病であつたのか、障害であつたのかなどと思いを巡らしますと、治つたことを意味します。その人は、イエスと同じように苦しむ人を救い、導いているのですからとても利他的であります。その人をヨハネは、従わなかったからとやめさせています。ヨハネにとっては、救いの行いが悪いのではなく、仲間でないにも関わらず師匠の名前を語っていることが悪く思えたのです。もし、イエスの名前を使

ったその人が、ヨハネに従い、仲間になつていけばヨハネは告げ口しなかったのかも知れません。けれども、イエスは、誰のものでもありません。本来的にイエスはイエスであり、ヨハネの師匠という持ち物でも、ましてやブランドでもありません。当然の如く、イエスにとつてみればヨハネは利己的であつたのです。

イエスは、ヨハネを咎めるのではなく、宥めています。イエスの名前を使った後ではイエスの悪口を言えないのだと言って、ヨハネに別の視点を与えています。ここで、重要なことはヨハネが批判した悪霊を追い出すということに対して、肯定も否定もしていないことでもあります。もし、ヨハネに對して悪霊を追い出すことがよくないと肯定すれば、「わたしたちたちの味方」(ルカ9・40)と矛盾します。一方で、悪霊を追い出している行為は良いとヨハネを否定すれば、イエスの弟子である必要がなくなる可能性もあります。肯定も否定もせず、静観する勧めは誰も傷つけない判断といえ

ます。イエスはすべての人を隣人とされているのです。とても利他的です。そして、付け加えて「あなたがたがキリストに属する者だという理由で、一杯の水を飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける。」(ルカ9・41)としています。ひどく明快です。イエスは、弟子たちに多くのことを教えてきましたが、その実、弟子たちの欠けの多さも目の当たりにしてきたのだと思います。であるからこそ、ヨハネはイエスに告げ口をしたのです。仲間が、仲間ではないかという問題は、神にとつてはとても小さな問題であると言わざるをえません。とりわけ、イエスの生きた時代には、その思想や教えが整理されていませんでした。イエスと実際に会い、あるいは幾人から伝え聞いたというような時代には、イエスの教えと外れているかどうかをヨハネが判断できたはずもありません。イエスにとっては、ほぼ等しく同じ隣人であり、仲間であつたのです。

四、命の水はどこからやってくるのか

私たちは、利他的に行動することをしようとはしていても、なかなかできません。エキュメニカル運動の歴史について学ぶ気が起きないほどにはつまらない争いをキリスト教の内外で繰り返しています。正直、教団の資料を読むたびにうんざりしています。もし、教団総会などは選ばれても、衆議院議員選挙並みに行きたいと思えません。ベルゼブル論争が言うように、悪霊は悪霊を追い出すことはできません。ただ神によつてでる聖霊によつてしか追い出せないことになりそうです。どの勢力がどの勢力をも追い出せていない現状をみますと、どの勢力も悪霊でしかないのかもしれないと言ふ思ひになります。教団の中でもそうですが、イスラム、キリスト教、ユダヤ教などの関係性は、永遠に続くことでしょう。思想が違ふから、宗派が違ふから、歴史が違ふから一致できないのでしょうか。イエス・キリストの説く利他的勧めは、決して違いのために一致できないのではなく、む

しろ仲間と思えない人たちとも一体であることを要請しています。隣人を愛せない私たちに終止符を打たねばなりません。そのような意味では、神の永遠性の中で神の国は、もう直ぐという名の永遠という遠い未来にしか来ないのかもしれないと思わされます。

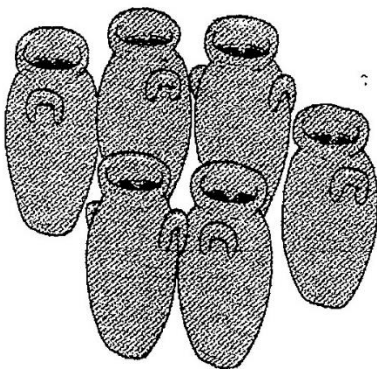
けれども、最後にイエスが引き合いに出した水のモチーフは、私たちに希望を与えてくれます。現代でも場所によってはありますが、イエスの時代には、彼の名前を出せば迫害を受けていたかもしれない時代でありました。イエス自身も受け入れてもらえないことがあったのです。そのような時代に、砂漠を歩き伝道をするとは文字通り命の危険を伴うものであったことでしょう。喉が渇き、飢えた体に水というのはとても貴重でありました。正しく、命の水であつたのです。その水は、命を繋ぐ一方で、毒や不衛生によって命を危険にさらすものでもあつたと思います。水を与えてくださる人が信頼できるかどうかは、今よりもず

っと大切なことでした。そのような時、キリストに属する者だという理由だけで信用に足ることをイエスは説いています。与えた方も与えられた方も命を繋ぐことができるのです。

五、ある峠越えにて

私自身、人生における第一の峠を登っております。その道中は様々な障壁がありました。何とは申し上げられませんが、それなりにありました。皆さんがそうであるように、紆余曲折をし、随分と遠回りをしてまいりました。ある牧師によって手渡された新たに生まれ変わるための命の水によってここにおりますが、それを受け取るまでに多くの水を飲んでまいりました。聖書という水、愛という水、喜びという水、苦しみという水、悲しみという水をそれぞれ味わってまいりました。そこにキリストの名は語られなかったかもしれませんが、けれども、新たに生まれ変わる水を飲むまでに、それらの命の水を味わっていなければ、本

当に美味しい水だとは感じなかったのだと思つています。そこには、キリストの名が隠れていたのです。神は、究極的な利他の有り様を示してくださいと感じています。これから、第二、第三の峠を旅していかねければなりません。しかし、今度は、私も享受した水を分け合っていかなければなりません。もしかすれば、飲んでいただけなにかもしれませんし、マラの水だと言われるかもしれませんが、それでも、そのマラの苦い水も神が飲める水に変えてくださることを知っています。ですから、私は安心して神により頼んで利他を行うことができるのです。そして、そこで味わう水を想いますと今からでもワクワクしております。



鳥取支部「春の日集会」報告

倉敷教会 宮脇俊昭

4月29日(火)に鳥取支部春の日集会が行われ参加する機会をいただきました。今年の春の日集会は鳥取教会で、湖山教父信徒の山内英子さんが、「部落に生きる、わたしを生きる」と題して講演されました。集会は松岡義人さんの司会で、最初に鳥取支部立ち上げの時から「奉仕くださり3月に召された中川康恵さんと、狭山事件で冤罪の見えない手錠をかけたまま逝去なさった石川一雄さんを偲び黙祷を捧げました。その後幾野支部長の挨拶と山内英子さんの紹介がありました。講演内容をすべては書きませんが私の心に残っていることを書いていきたいと思います。

「コロナ禍により人前でお話する機会が少なくなりました。」この度千障共の春の日集会でお話できますことを喜び、その

準備を進めていましたが、3月11日に私の心が折れる出来事がありました。狭山事件の石川一雄さんが亡くなられたのです。見えない手錠をかけたまま送ってしまい、とてもお話などできないと思いました。でも石川さんのことも含め皆さんに伝えなくてはとの思いでお話することを決めました。皆さんは『狭山事件・石川一雄さん』ってわかりますか？今日の題は『部落を生きる、わたしを生きる』となっていますが、まず狭山事件のことからお話します。狭山事件は埼玉県狭山市で62年前に起こりました。女子高校生が誘拐され殺害されました。犯人は身代金を要求しその受け渡しの時警察は犯人を取り逃がしてしまいました。この事件の1か月前にも吉展ちゃん事件で、犯人を取り逃がし吉展ちゃんは殺害されるという失態を犯しており今回は何としても犯人を捕まえて吉展ちゃんの時の失態を挽回しなくてはならなくなっていました。そこで警察は近くの被差別部落の者ならやりかねないだろうという見込

み捜査で石川さんを別件逮捕しました。犯人からの脅迫状が来ていましたが石川さんは非識字者でした。石川さんは小学2年の頃からずっと畑仕事等で学校に行けず、たまに友達に見せてもらう漫画本を見ていくらかの文字は読めたようですが文章を書く力はありません。警察は石川さんに自白を迫ります。「お前が犯人でないならお前の兄さんが逮捕される」とか「10年経てば出られる」と言います。当時お兄さんは一家の働き手でありお兄さんが捕まったら一家は食べられません。自分が10年辛抱すればいいと思い警察に言われるままに自白しました。1964年奇しくも3月11日に裁判で死刑判決が言い渡されました。『10年辛抱すれば出られる』と信じていた石川さんは控訴し無罪を主張していることになりました。警察は証拠の捏造を重ねていきます。何度かの家宅捜査では見つからなかった万年筆が、ある時家の鴨居におかれていたという事で押収され、それで脅迫状を書いたという事にされました。そ

の中で裁判が重ねられ死刑判決から無期懲役となりました。無罪とはなりません。時を重ねる事件から31年後に仮出獄となります。その後も戦い続ける中、10年くらい前から良い風が吹き始めました。証拠開示や鑑定人への尋問が始められ、そして同じように冤罪で死刑判決が出されていた袴田巖さんの再審無罪確定が昨年なされ、今年には石川さんだと支援者が意気込む中、仮出獄から31年後にあたる2025年3月11日に亡くなられます。私たち支援者には見えない手錠のまま逝かせたという悲しみがありません。冤罪62年!! 想像を絶します。4月11日お連れ合いの早智子さんが第4次再審請求を申し立て、無罪を勝ち取るための闘いが始まりました。これらは私たちに無関係のことでしょうか? 間違つて逮捕されたり、間違つて犯人にされたりと今はたまたまそうでなくても冤罪事件に巻き込まれる可能性はあります。そのことを心に刻んでいただけたらと思います。

私は現在湖山教会の信徒です。高校2年の時に受洗しました。生まれてからずっと湖山で育ちました。私は今、日本基督教団の部落解放センターの常任運営委員をやっています。何故、日本基督教団に部落解放センターがあり部落解放に関する研修等をやっているのか。それは教団や教会の中に部落差別があるからです。教団では7月第2主日を『部落解放祈りの日』として定めています。今年は7月13日(日)にその日に当たります。また6月30日(月)に名古屋新生教会で部落解放祈りの日礼拝を捧げます。各教会にポスターが送られています。当日はZoom参加も出来ます。私は結婚してから今は鳥取市になっていますが、そのこの国府町にある被差別部落に住んでいます。私の父やおじは部落差別に対して正しい知識を持っていたため、私たちは大きな反対もなく結婚しました。当たり前のことですが、結婚することが出来たという表現になってしまいます。以前信徒の友に書かせていただきましたが長男が生

まれた時のことです。出産後退院して子どもを家に連れて帰った時夫は泣きました。『この子が自分と同じような部落差別を受けることを思うと悔しくて泣けてきた』そうです。私にはそのことが理解できずにいしましたが新しい命の誕生の時に泣かなくてはならない部落差別って何だろうと思つてしまいました。

部落差別の話聞いたとき『私の周りに部落はない、知り合いはいない』『関係ない』という方が多いです。私達教会に集つものは主日礼拝で祝福と派遣の言葉を受けます。実際は性差別、外国人への差別、障がい者への差別など多くの差別がある中へ出て行けと励まされます。差別に満ちたこの世に出て行けと。

私が話すことで私自身が強められています。また聞いてくださった人の心に部落差別はおかしいと感じてもらつたための種まきをしていきたいと思っています。私に出来る小さなことを神様に喜んでもらえると思信じています。聖書にはイエス様が乗る口



会 計 報 告

(24年11月1日～2025年2月28日)

会計 宮脇俊昭

収 入		支 出	
会費(36口)	72,000	行事費	12,212
		総会 総会 監査	会場費、総会資料印刷代等 説教謝礼 交通費(岡山蕃山町教会)
(会費累計4名)	(72,000)	シャローム	25,515
		印刷関係 発送作業 発送	163号用紙代、印刷代等 交通費、会場費 送料
献金	3,000	会議費	役員会(11/22、12/6)
		交通費	役員会(11/22、12/6)
		会場費	役員会(11/22、12/6)
		事務消耗品費	コピー・通知・払込料金
小 計	75,000	小 計	47,762
前 月 より	725,714	次 月 へ	752,952
合 計	800,714	合 計	800,714

〔会費・献金の納入を、感謝申し上げます。〕

個別の領収証を希望される方は、遠慮なくお申し出ください。従来通り送付いたします。よろしく願いいたします。

(敬称略・順不同)

(年会費)

(日キ旭東教会) 宇野稔、栗原正、那須清美、成本書子、森言一郎・森美樹、
脇本泰・脇本光代

(神の子供キリスト教会) 佐々木寛治(3年分)

(岡山神召キリスト教会) 佐々木祐二

(日キ鳥取教会) 20名

(日キ琴浦教会) 近藤英子、曾我洋一、藤原美恵子

(日キ米子教会) 浜添薫、松本剛典、松本理恵

(献金)

佐々木祐二(岡山神召キリスト教会)

山内さんのお話はもつとたくさんあり
ました。字数の制限と私の力では山内さん
がおっしゃったかったことの半分もかけて
いません。キ障共の皆さんだけでなく多く
の方に直接聞いて欲しいお話でした。

バの話があります。主が必要としているの
はこのロバのような小さな力です。それを
私に求めておられるのだと思っていま
す。」

2月末現在資金残高

定額預金	500,000
普通預金	83,372
振替口座	93,143
現金	76,437
合 計	752,952

難波幸矢

多分シャロームは1〜3月は休むのだと結構ゆっくり構えていたら、ゆっくりしすぎて5月発行とは何たること……すみません。

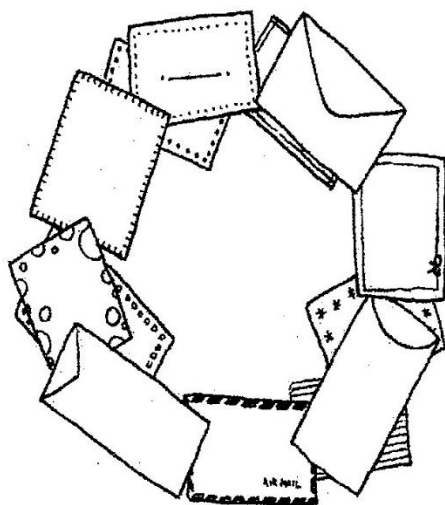
12月に発送してから、皆さんの方では何か変わった事や面白い事がありましたか。私難波は、ご存知のようにハンセン病療養所内の光明園家族教会の教会員ですが、ついに家族教会の兄弟姉妹方は一人も礼拝に出席できなくなりました。教会員としては私を入れて7名在籍しているのですが、皆体や心に支障をきたし礼拝出席が困難な状態になりました。

難波以外誰も礼拝に出席できない状況で、遠い所を岡山市内でもですが倉敷市内からも礼拝に通って下さる牧師先生や信徒の皆様のごが本当に申し訳なくて、新年度になったらどうしたものか「を関係の先

生がたと話し合う所になりました。今年度は新しい形の礼拝になるかもしれない。勿論どのような形でも私自身が礼拝に通うことに変わりはありませんが。

ところで、宮脇さんの「鳥取支部春の日集会報告」がとても良かったと思います。それは、その講演の山内葵子さんのお話がすばりかつたからです。岡山側でも、教会を超えてお話しして頂ける場所があったらと考えています。いろいろな角度から自分を、他者を、地域を、周りを見つめることが大切と思っていますので、ぜひ広めていきたいと思いました。

久しぶりのシャロームです。感想やご意見をお送り下さったうれしいです。みんなのシャロームなのでみんなで盛り上げていって下さい。今回のシャロームには「私の詩を載せて下さい」なんていうのが届くと嬉しいです。お待ちしております。



「シャローム」第二六四号

発行日 二〇二五年五月十八日

発行所 東中国キリスト者

障害を共に学び共に抱つ会

発行人 事務局長 難波幸矢

〒七〇三ー八六五

岡山市中区倉田八五八ー八一

電話 〇八六一七六一四八七